

# 【テーマ】

## 「しっかり学ぼう Microsoft365 テナント管理者編」

### 【主催】システム運用管理分科会

### 活動報告

日 時：2025年7月28日（月）14:00 -17:00

場 所：日本マイクロソフト株式会社 + オンライン配信（Webex）（ハイブリッド開催）

出席者：90名

#### 1. 研究内容

多くの大学で導入されているMicrosoft 365。その一方で、テナント管理、サービス管理、機能活用、セキュリティ対策など、様々な疑問・課題に直面している大学は少なくありません。

当日は、日本マイクロソフト株式会社（東京都港区）オフィスとオンラインのハイブリッド形式で開催されました。今回は多くの大学で導入されているMicrosoft 365（以下、M365）に関して、ライセンス体系や機能等について、日本マイクロソフト社から情報をご提供いただきました。またディスカッションでは、参加者の皆様と利用状況や課題を共有しました。

#### 2. スケジュール

14:00 分科会開始  
○開会挨拶

○ご講演（60分）

「Copilotで進化するM365活用」

日本マイクロソフト株式会社 AIビジネスソリューション統括本部  
第一コラボレーションソリューション推進本部 服部 友貴 氏

○オフィス見学（40分）

○休憩（10分）

○グループディスカッション（50分）

○各グループより全体共有（10分）

17:00 ○閉会挨拶

## 「しっかり学ぼうMicrosoft365 テナント管理者編」

2025年7月28日（月）、システム運用管理分科会が、日本マイクロソフト株式会社（東京都港区）オフィスとオンラインのハイブリッド形式で開催されました。今回は多くの大学で導入されている、Microsoft 365（以下、M365）に関して、ライセンス体系や機能等について、日本マイクロソフト社から情報をご提供いただきました。またディスカッションでは、参加者の皆様と利用状況や課題を共有しました。

産業能率大学錦織氏の司会で進行し、まず日本マイクロソフト株式会社 AIビジネスソリューション統括本部 第一コラボレーションソリューション推進部長の青木氏が挨拶をされ、その後講演に移りました。

### ■ご講演：

#### 「Copilotで進化するM365活用」

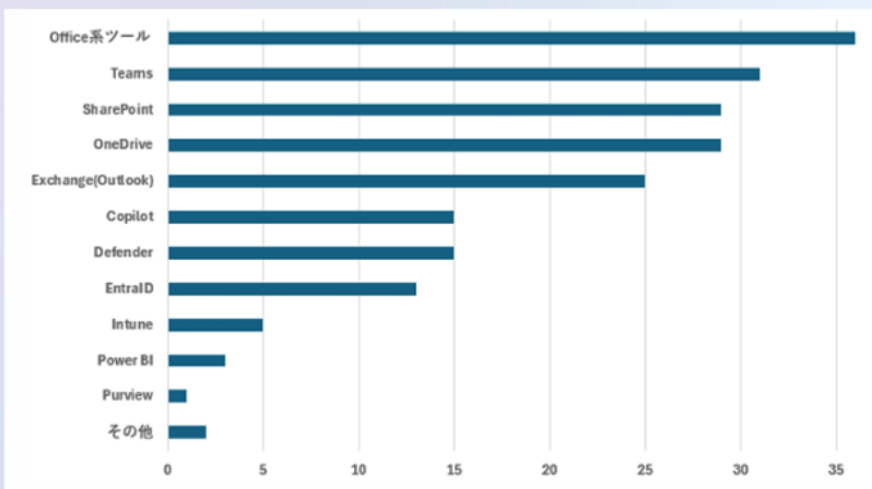
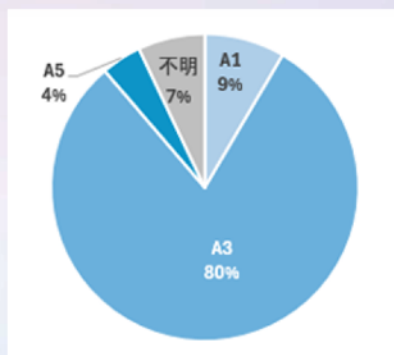
日本マイクロソフト株式会社 AIビジネスソリューション統括本部  
第一コラボレーションソリューション推進本部 服部 友貴 氏より

### ○M365をしっかり学び活用して、業務をもっとスマートに

分科会に先立ち、参加者の皆様に回答いただいたアンケート結果をご紹介します。多くの大学がM365 A3ライセンスを保有しています。主にWord、Excel、PowerPointといった基本的なOffice機能が利用されていますが、コロナ禍以降はTeamsの利用が増加しているようです（図）。しかし、大学の方にお話を伺うと、条件付きアクセス、Intune等のセキュリティ機能や、スケジューリングアプリBookings等はほとんど活用されていません。特にIntuneは、初等中等教育の場ではGIGAスクール構想で積極的に利用されているものの、大学では導入が進んでいないのが現状です。A3ライセンスで使える機能もありますので、適切に設定し活用して、セキュリティ強化や業務効率化に役立てましょう。

学内で使用されているMicrosoft365の  
ライセンスの種類について

ライセンスの中で利用されている機能



最近、生成AIが活用されるようになり、クラウドセキュリティに関するお問い合わせが増えています。セキュリティに関して、3つのポイントからお話します。

### その① 認証

クラウドサービス利用においては、「Security By Default（初期設定の段階で既に安全な状態になっていること）」の考え方が重要です。また、いつでも誰が何をしたかを確認するために多要素認証の導入を強く推奨します。

ID管理も重要です。IDの使い回しはセキュリティリスクを高めるため、Entra ID（旧 Azure AD）を軸としたID統合を検討してください。Entra IDを活用することで、オンプレミス環境の認証も統合管理できる仕組みがあります。特に、共有IDの利用はリスクであり、事故発生時の責任の所在が不明確になります。Azure Active Directory Premium P1ライセンスでは、動的なグループ作成やライセンス管理の効率化、さらにはTeamsの野良グループ対策として有効期限設定機能等が利用できます。

### その② データ漏洩対策

情報漏洩対策として、「ラベル機能」をご紹介します。これは、ファイルにラベルを設定することで、たとえ情報が外部に漏洩しても、許可されたユーザー以外は閲覧できないようにする機能です。Word、Excel、PowerPointといったOfficeファイルだけでなく、テキストファイルやCSVファイルにも適用可能であり、組織内の機密情報を保護する上で非常に有効な手段です。例えば、教職員しか閲覧できないファイルにラベルを設定することで、学生に誤って共有された場合でも情報漏洩を防ぐことができます。また、ラベルの運用においては、作成するラベルの数を絞ると管理がしやすいでしょう。利用者への教育を徹底することも重要です。

さらに、Defender for Endpoint（DLP）と連携すれば、不正操作の検知・ブロック等も可能です。

### その③ コンピューターの管理

Intuneは、Windows、MacOS、iOS、Android等の様々なOSに対応した端末管理ツールです。デバイスの登録、アプリの配信、パッチ適用、さらには紛失時のリモートワイプといった機能を提供します。教職員のデバイス管理を強化することで、シャドーITのリスクを低減できます。特に、教育現場においては、教職員の端末管理だけでなく、学生の端末管理においてもIntuneが有効です。数千台規模の小中学生のパソコンを一元管理し、アプリの展開や設定を効率的に行っている石垣市教育委員会の事例もあります。

エンドポイントセキュリティとして、A3ライセンスで利用可能なDefenderのウイルス対策機能に加え、A5で提供されるEDR（振る舞い検知）機能もあります。メールセキュリティやクラウドサービスとの連携により、多層的な防御と迅速なインシデント対応が可能になります。Defender for Cloud Appsは、SharePointやOneDriveの過剰な共有範囲を特定する機能で、企業向けはE5ライセンスが必要ですが、アカデミック向けはA3ライセンスで利用可能です。

M365を利用促進する方法として、類似サービスの排除、トップダウンとボトムアップの両方からの推進、外部講師によるセミナー開催、ユーザーコミュニティへの参加等が挙げられます。他社サービスからの移行については、容易ではないことを認識し、実績のあるパートナーへの相談や専用ツールの活用等をご検討ください。

次に生成AIについてお話しします。Microsoft Copilotは、業務効率化に大きく貢献するツールです。無償で利用できるライセンスから、商用保護の環境で、組織内の情報に基づいて対話できる有償版、よりチューニングされたAIモデルを安全に利用したい場合に選択肢となるAzure OpenAI等があります。ChatGPTと同様に、質問応答や画像生成、アンケート結果の要約等、定性的な情報の整理にCopilotが非常に有効です。

Copilotの最大のメリットは、情報収集と資料作成の劇的な時間短縮です。これにより、浮いた時間を学生へのサービス向上といった、より重要な業務に充てることが可能になります。ただし、Copilotを効果的に活用するためには、データがクラウド上にあること、そして多要素認証やラベル付けといったセキュリティ対策が施されていることが前提となります。安全にクラウド上にデータを置き、運用することが重要です。

Copilotは「入社したばかりの新人」だと考えるとよいでしょう。医学の知識も多言語を操る能力もありますが、指示が曖昧だと期待する回答が得られないことがあります。ハルシネーション（嘘をつくこと）のリスクもあり、情報源を確認し、最終的な責任は利用者が持つことを忘れず活用してください。

Q&Aセッションでは、M365の活用に関して、Intuneを活用した教員のPC管理やパスワード管理の自動化、OneDriveとTeams/SharePointの適切な使い分け、施設予約におけるExchange活用等についての質疑がありました。

## ■施設見学：

現地参加の方は、3グループに分かれてオフィスを見学させていただきました。3年前に改装されたばかりのきれいなオフィスで、フロアごとに様々な装飾が施されています。また木を多用したぬくもりの感じられるインテリアで、観葉植物もあちこちに配置されていました。バリアフリーの設計で、点字ブロックやスロープ等も目につきます。社員食堂は部内の懇親会で使用されることも多いそうです。オフィスは完全なフリーアドレス制で、個人の袖机やロッカーはありません。カメラで混雑状況を監視し、施設管理に活用されているそうです。オフィスの入り口には、無料のドリンクとスナックが置かれた休憩スペースがあり、顔を合わせたコミュニケーション促進に一役買っています。

## ■グループディスカッション：

施設見学の後は、3グループに分かれてグループディスカッションを行い、オンラインでも配信されました。各グループの発表をご紹介します。

### Aグループ

情報システム担当者の人手不足とM365の管理に関する課題が議論されました。情シス担当者はM365だけでなく多岐にわたるシステムを管理しており、M365に関する情報不足や学習時間の確保が困難であり、「M365の達人」が必要だという意見に皆さん同調していました。マイクロソフト社に対し、M365のテナント管理や設定方法を学べる機会を提供してもらえるとありがたい、という要望も出ました。

### Bグループ

M365の利用状況と課題について実務的な議論が行われました。特に、アプリケーションやTeamsの利用を今後どのように発展させていくかが焦点となりました。Windowsへのサインイン時にGoogleアカウントやMSアカウントを使用する際のテナント管理の重要性が指摘され、卒業後の学生アカウントの処理も話題になりました。

### Cグループ

このグループの大学では、Google WorkspaceやM365等、様々なプラットフォームが利用されていました。特にCopilot、Intune、ラベル機能への関心が高かったです。セキュリティ面では、Intuneによる一括管理が議論され、Autopilotによる初期設定や端末リセットの効率性、Entra IDとの連携、ラベル機能の併用、ゼロトラストの考え方に基づく安全な運用等を議論しました。

結びに、東洋大学の鈴木氏（システム運用管理分科会幹事）が「M365は、従来のWord、ExcelといったいわゆるOfficeソフトから、セキュリティやファシリティマネジメント等、インフラ系サービスに重点を移していると感じました。また、この品川オフィス、事務所の施設見学も先進的で大変参考になりました」と述べ、閉会となりました。

#### 4. 参加校 [36校61名] ・参加企業[5社29名] ・参加総数[90名]

帝京大学 [2] 名古屋大学 [3] 亜細亜大学 [3] 愛知学院大学 [1] 嘉悦大学 [1] 鎌倉女子大学 [1] 関西学院大学 [1] 関西国際大学 [1] 関東学院大学 [1] 久留米大学 [1] 共立女子大学 [1] 金城学院大学 [3] 九州産業大学 [1]	工学院大学 [3] 山形大学 [1] 産業能率大学 [4] 順天堂大学 [1] 女子栄養大学 城西大学 [1] 成蹊大学 [1] 清泉女子大学 [2] 大阪産業大学 [1] 中京大学 [2] 津田塾大学 [1] 帝京平成大学 [2] 東海大学 [3]	東京工科大学 [3] 東京農業大学 [1] 東京農工大学 [1] 東洋学園大学 [2] 東洋大学 [3] 二松学舎大学 [1] 白鷗大学 [1] 文京学院大学 [3] 名城大学 [1] 立正大学 [2]	東京コンピュータサービス株式会社 [1] 富士電機ITソリューション株式会社 [2] 日本マイクロソフト株式会社 [5] 有限会社ハーティサービス [1] 富士通Japan株式会社 [20]
---	---	--	---

#### 5. 所感（システム運用管理分科会運営委員会）

今回は以前から関心の高かったMicrosoft 365の管理面に特化し、日本マイクロソフト様の協力を得て、Microsoft 365のライセンス、セキュリティ機能、生成AIの活用などに関して説明をしていただくことで、最新の機能や大学での運用について理解を深めることができました。

オフィス見学では改装したばかりのオフィスを見学させていただきました。全体がバリアフリーの設計となっており、観葉植物などの癒やしの空間に加えてスポーツジムなど体を動かしてリフレッシュできる場所もあり、最新コンセプトの働きやすい環境のオフィスに驚かされました。

グループディスカッションでは1グループの配信も行い、オンラインでの参加者も含めて活発な意見交換ができました。特にTeams等のアプリの活用やセキュリティ、端末の一元管理、Copilotへの関心が高く、日本マイクロソフト様と直接議論をすることで各大学での課題解決に役立てることができ、満足度の高い分科会とすることができました。

#### 【 分 科 会 の 様 子 】



#### 【事務局より】

次頁以降に開催後アンケート結果（抜粋版）を記載しています。

開催後のアンケート結果詳細版や当日プレゼン資料ご覧になりたい方は、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。また、今回の分科会開催に際し事前アンケートを行っています。事前アンケート結果につきましても「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しております。

#### ◆「CS研・IS研情報交換サイト」について

CS研・IS研の会員向けに情報・資料をご提供し、会員の皆様で情報交換をする会員専用のサイトです。

（サイトのご利用をご希望の方は、利用アカウント申し込みサイトにてお申込みください。）

情報交換サイトURL：

<https://csis.ufinity.jp/shared>

※利用アカウント申し込みサイトURL：<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/102857>

#### 【連絡先】

私立大学キャンパスシステム研究会 事務局

〒 212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 JR川崎タワー

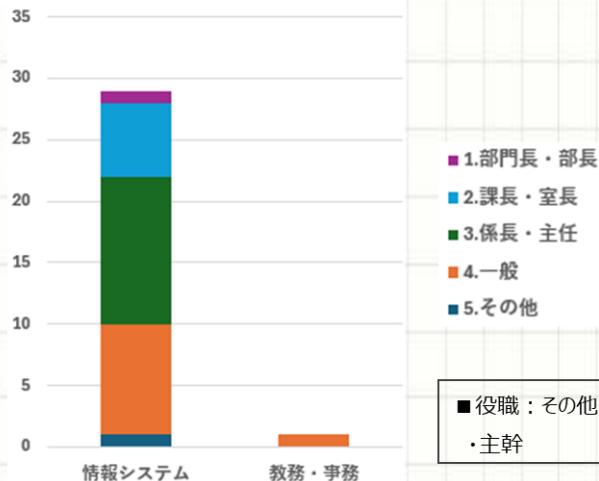
富士通Japan株式会社 ビジネス変革室内

E-mail：[contact-csiken@cs.jp.fujitsu.com](mailto:contact-csiken@cs.jp.fujitsu.com)

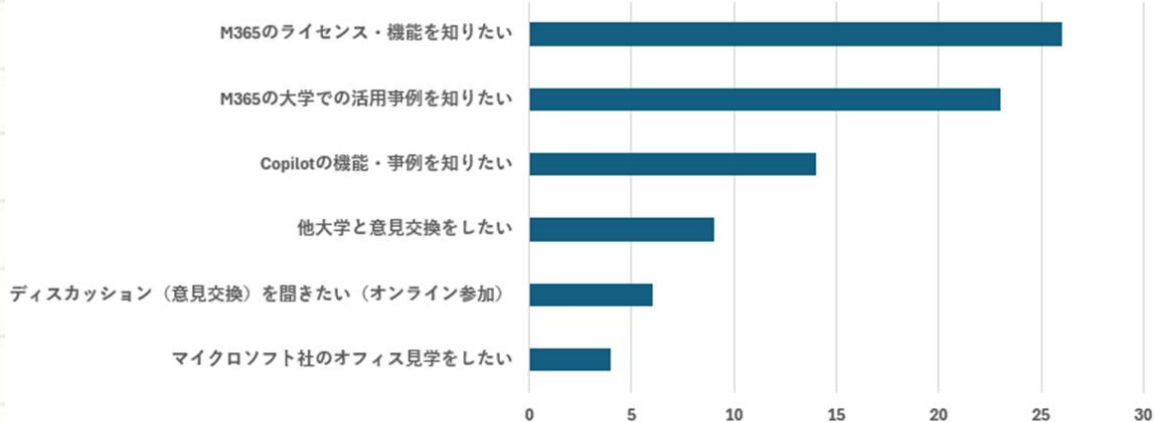
# 開催後アンケート結果【回答数／対象者数：30／61（大学関係者のみ）】

## ■ 担当業務と役職について

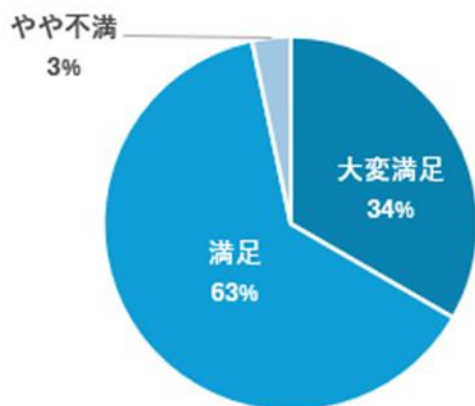
### ■ 担当業務と役職



## ■ 参加した目的について



## ■ 本日の分科会の全体満足度について



満足以上 : 97%  
やや不満以下 : 3%

## ■全体満足度の評価理由について（一部省略・抜粋）

### 【講演内容への満足（製品知識・新情報の獲得）】

- Microsoft365の全体的な機能の説明が聞けて良かったが、やはり各大学の個々の事情があるので深掘した話をもう少し聞きたかった。
- M365とコパイロットが少しわかった
- 新しい情報に触れることができ、大変参考になりました。
- ものすごく盛り沢山の内容で、一度ではついていけない部分がありました。もう一度、オンデマンドで聞きたいくらいです。
- 通常では聞くことができない話をわかりやすく話していただいた。
- M365の機能である、ラベリングについては興味があったので、お話を聞いたのは良かったと思います。
- M365の多様な機能の紹介があったが、さらに踏み込んでこのように設定して使う、などの詳細な事例紹介があると良かった。特にIntuneによるデバイス管理において、ADとEntraIDがある場合、Hybrid Joinで利用することになると思われるが、基本的な登録方法と管理運用方法についても知りたかった。
- ライセンス・機能について知りたいことが、参加目的の1つであったため、大変満足しました。ただし、今回は事例より機能の概要に関する話題が多く、初めて聞く用語が多かったため、事前に資料を提供いただければ大変ありがたかったです。このような研修を設けていただきありがとうございました。

### 【参加者間交流への満足（他大学の事例・意見交換）】

- オンラインでの参加でしたが、他大学様がどういう状況で、何を課題としているかを把握できて良かったです。
- 私大のキャンパスシステム研究会とのことでしたが、参加させていただきましてありがとうございました。他大学の状況を知ることができました。皆さん、同じような苦労をされているという点で大変共感できました。日ごろ、他大学と交流することが少ない職責ですので、大変有意義でした。
- 他大学でのライセンスの選択と利用状況について知見を得た
- Microsoft365A3のセキュリティ機能の運用について検討を行っているため、他大学様の状況などをおうかがいでき参考になりました。

### 【講演と交流の両面での満足】

- MSの講演を聞いて概要が理解できたのと、グループディスカッションで周りの大学の考えていることや状況が知れたため。
- 講義ではA3でできること、A5でできることスライドで表記いただいていたため、自組織にてすぐに対応検討が可能な機能・サービスを把握しながら聞くことができたため。ディスカッションでは他大学の事例をお伺いすることができたため。
- 日常的に利用させていただいているMS365について、専門家からお話を直接聞いたこと。他大学の運用状況について情報交換できたこと。

## ■今後、CS研で実施してほしいイベントやテーマについて（一部省略・抜粋）

- M365など、機能の使い方を教えていただく講習会のようなイベント
- Microsoft365の設定でこのようにしたほうがよいというもの。
- M365管理センターのハンズオンセミナー
- サイバーセキュリティ（特にEDR、ランサムウェア対策）のテーマを希望します。
- BYOD端末未携世代の学び方、授業運営、学内インフラ・設備。
- Microsoftのサービス（特にセキュリティ関連）に関しまして、また別途各大学様との意見交換のような場がありましたら大変助かります。他大学の皆様の悩みに対して、助言をするにはかなり精通した方が必要と思われましたので、今回のようにその場でご教示をいただけるMicrosoftのご担当者様、もしくは、販売会社様でMicrosoft サービスの環境の構築やサポートをされているSEの方にご同席いただければより成果が出るのではと思われました。
- 各大学のICT環境及びトラブルシューティング事例

## ■CS研についてのご意見・ご要望について（一部省略・抜粋）

- 勉強になりました。ありがとうございました。
- やはり対面出席させていただきますと、得られる物が多いと感じております。皆さまいつもありがとうございます。
- 不定期の参加にもかかわらず、温かく迎え入れてくれる雰囲気がとても良いです
- 今回初めてCS研のイベントに参加させていただきました。私自身、新卒で情報システム課に配属となり、システムのことは何も分らない状態でした。しかし他大学さんの方と交流をしたり、現状を聞くことで勉強になることがたくさんあり、とても貴重な機会となりました。
- 時間配分に余裕が無いと感じます。13時～17時、あるいは昼食を兼ねて12時～17時としてもう少し踏み込んだ意見交換ができればと感じました。
- 施設見学、オンライン参加の方も見学が出来るようになれば面白そうだと感じました。（可能かわかりませんが）youtube限定公開でライブ動画、VR等。